

# 2011(平成23)年3月期 決算説明資料



1. 会社概要・事業内容
2. 2011(平成23)年3月期決算概要
3. 2012(平成24)年3月期業績見通し
4. 今後の展望

# 会社概要・事業内容

---

---

社名	株式会社ディーエムエス
本店所在地	東京都千代田区神田小川町一丁目11番地 千代田小川町クロスタ10階
設立	1961年4月
代表者	代表取締役社長 山本克彦
資本金	1,092,601,000円
社員数	300名(2011年3月現在)
子会社	東京セールス・プロデュース株式会社 株式会社デック
上場市場	JASDAQスタンダード(証券コード9782)
外部認証	プライバシーマーク JIS Q 15001:2006 ISMS JIS Q 27001:2006

## 沿革

**1961(昭和36)年4月**  
 ダイレクト・メール・サービス株式会社設立  
**1964(昭和39)年8月**  
 大阪支社開設  
**1976(昭和51)年4月**  
 板橋業務センター開設  
**1980(昭和55)年7月**  
 株式会社デックに資本参加 企画制作部門の充実図る  
**1981(昭和56)年10月**  
 朝霞業務センター開設  
**1985(昭和60)年10月**  
 DMS第二ビル社屋完成  
**1991(平成3)年4月**  
 (株)ディーエムエスに社名変更 創立30周年  
**1995(平成7)年10月**  
 日本証券業協会に株式を店頭登録  
**1998(平成10)年9月**  
 江東業務センター開設  
**1999(平成11)年2月**  
 プライバシーマークの認証取得  
**2000(平成12)年6月**  
 ロジスティクスセンター開設  
**2004(平成16)年7月**  
 分散していた事業所を統合し、  
 さいたま市に「業務センター」を開設  
**2004(平成16)年12月**  
 ジャスダック証券取引所に上場  
**2005(平成17)年10月**  
 情報セキュリティ規格「ISMS認証基準」の認証取得  
**2010(平成22)年10月**  
 業務センター内に「ロジスティクスセンター」を開設  
**2010(平成22)年12月**  
 本社新社屋完成  
**2011(平成23)年4月**  
 創立50周年

**事業概要**

顧客データベースを活用した販売促進戦略の提案から、ダイレクトメールに係るメーリングサービスやセールスプロモーション全般にわたる業務をトータルサポートしております。単に情報を一方的に発信するという、一般的な広告手段だけでなく、生活者から、ダイレクトにレスポンス(注文や反応)のとれる効果的なコミュニケーション・メディア(媒体)の提供とその業務運営を事業としております。

**ダイレクトメール部門**

DM広告企画・制作、メーリングサービス、顧客情報処理サービス、ダイレクトマーケティング事業のサポートビジネスなど、ダイレクトメールに関するあらゆる業務をトータルサポートしております。

**セールスプロモーション部門**

情報誌・カタログ等の企画制作、キャンペーン、フィールド・サービス、テレマーケティング、インターネット広告、折込広告等のメディアサービスなど、マスコミ4媒体(新聞、雑誌、テレビ、ラジオ)とは別の角度から目的に応じた効果的な企業の販売促進活動をサポートしております。

**イベント部門**

SPイベント、PRイベント、スポーツ事業イベント、文化事業イベント等多種多様なイベントの企画から実施、アフターフォローまで、企業・生活者双方のニーズに合ったイベント事業の運営をサポートしております。

**賃貸部門**

自社所有の不動産を賃貸しております。

**生産拠点**

**業務センター**

- 稼働年月  
2004年7月
- 延床面積  
約20,000㎡  
(約6,000坪)



**ロジスティクスセンター**  
(業務センター内)

- 稼働年月  
2010年10月
- 延床面積  
約7,000㎡  
(約2,000坪)

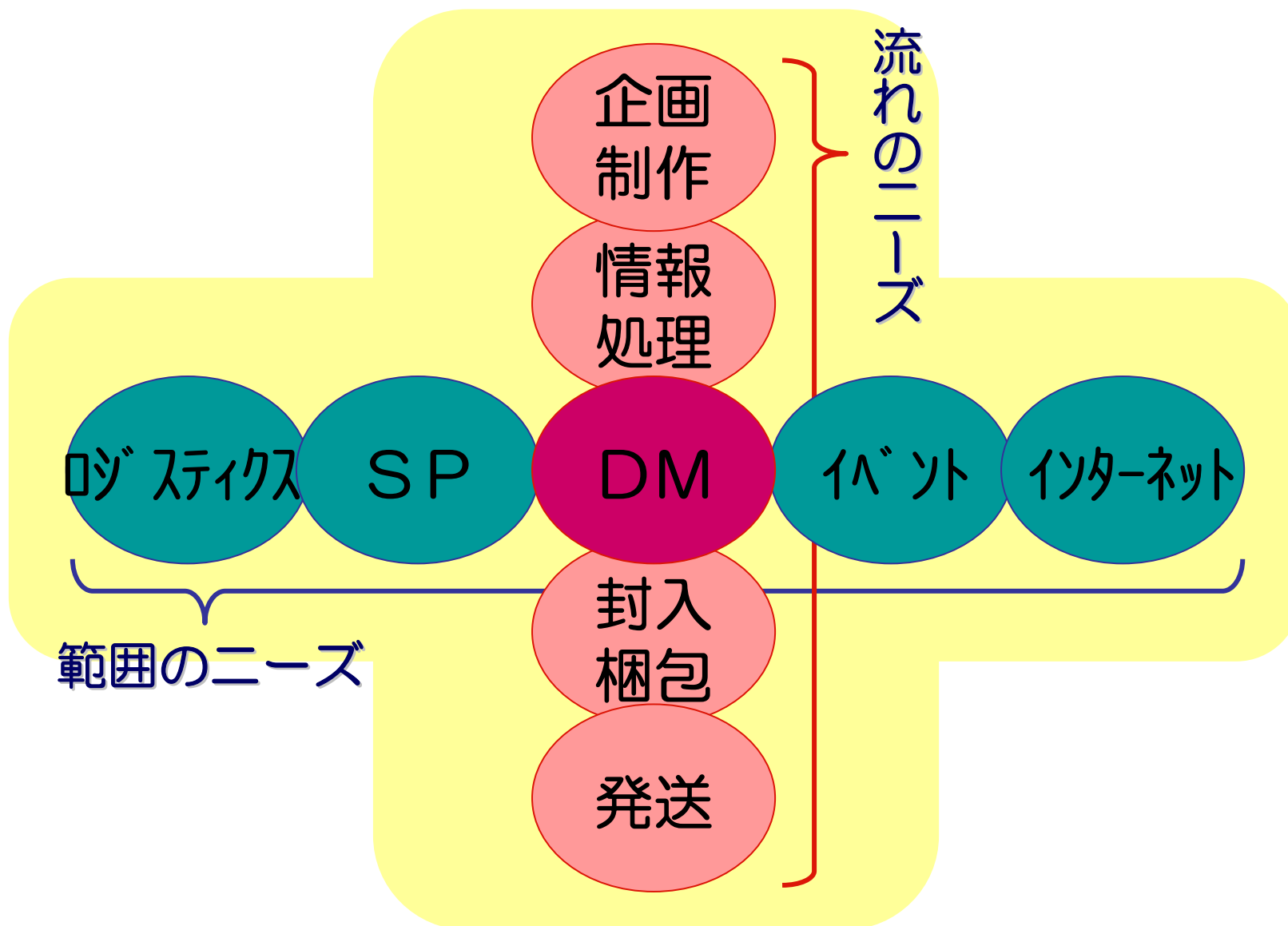


**大阪支社**

- 稼働年月  
1991年4月
- 延床面積  
約2,500㎡  
(約750坪)



顧客のニーズセットに対応する“トータルサービス”が強みです。



## 固定資産の取得

当社は、当事業年度において下記の固定資産を取得いたしましたのでお知らせいたします。

### 1. 本社ビル

- 取得資産／土地付区分所有建物  
(専有面積 591.73坪)
- 所在地／東京都千代田区神田小川町1-1-1
- 取得日／平成22年12月25日

千代田小川町クロス外観写真



### 2. ロジスティクスセンター

- 取得資産／建物  
(述床面積 1,881.64坪)
- 所在地／埼玉県さいたま市桜区田島8-3-29  
当社業務センター敷地内
- 取得日／平成22年10月12日

ロジスティクスセンター外観写真



2011(平成23年)3月期  
決 算 概 要

---

---



## 経済環境

- ・ 企業業績や個人消費に一部改善の兆し
- ・ 円高、デフレ局面、雇用・所得環境の低迷
- ・ 東日本大震災の影響

## 広告業界

総広告費が3年連続で減少（前年比98.7%）

（株式会社電通「2010年日本の広告費」より）

## DM業界では…

既存優良顧客や  
シニア層に向けた  
DMの活発化

ターゲットを絞った  
企画の実施傾向

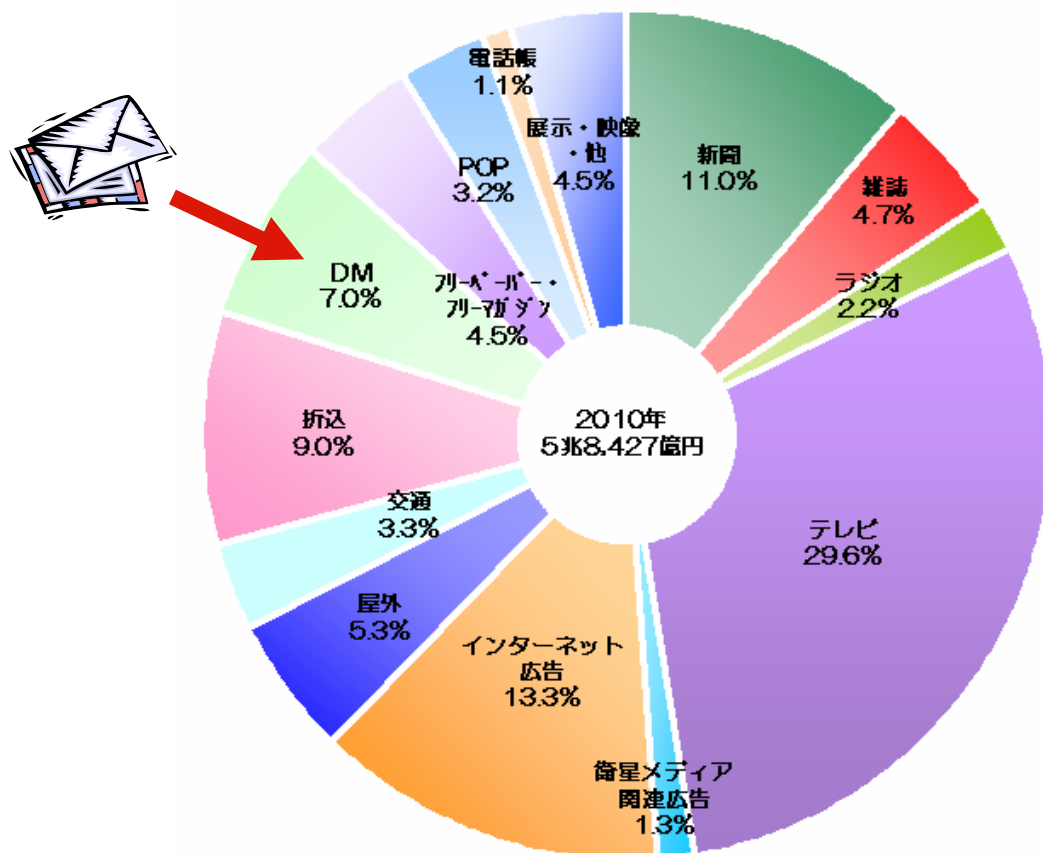


DM広告費の減少幅は縮小したものの、  
厳しい環境が続く・・・

「日本の広告費」(株電通)

平成22年(1~12月)、日本の総広告費は、5兆8,427億円(前年比98.7%)。

⇒DM(郵送料・民間メール便配達料)は、4,075億円(前年比97.1%)。



⇒総広告費に対する  
DMのシェアは、7.0%  
(前年は7.1%)

## 新規顧客開拓

“トータルサービス”を強みに新規顧客開拓を積極的に展開し、売上拡大を図る。

## メーリングサービス業務の内製化

業務センターを中核とした生産体制の増強と効率化により、宛名データ処理・出力やメーリングサービス業務の内製化を推進。

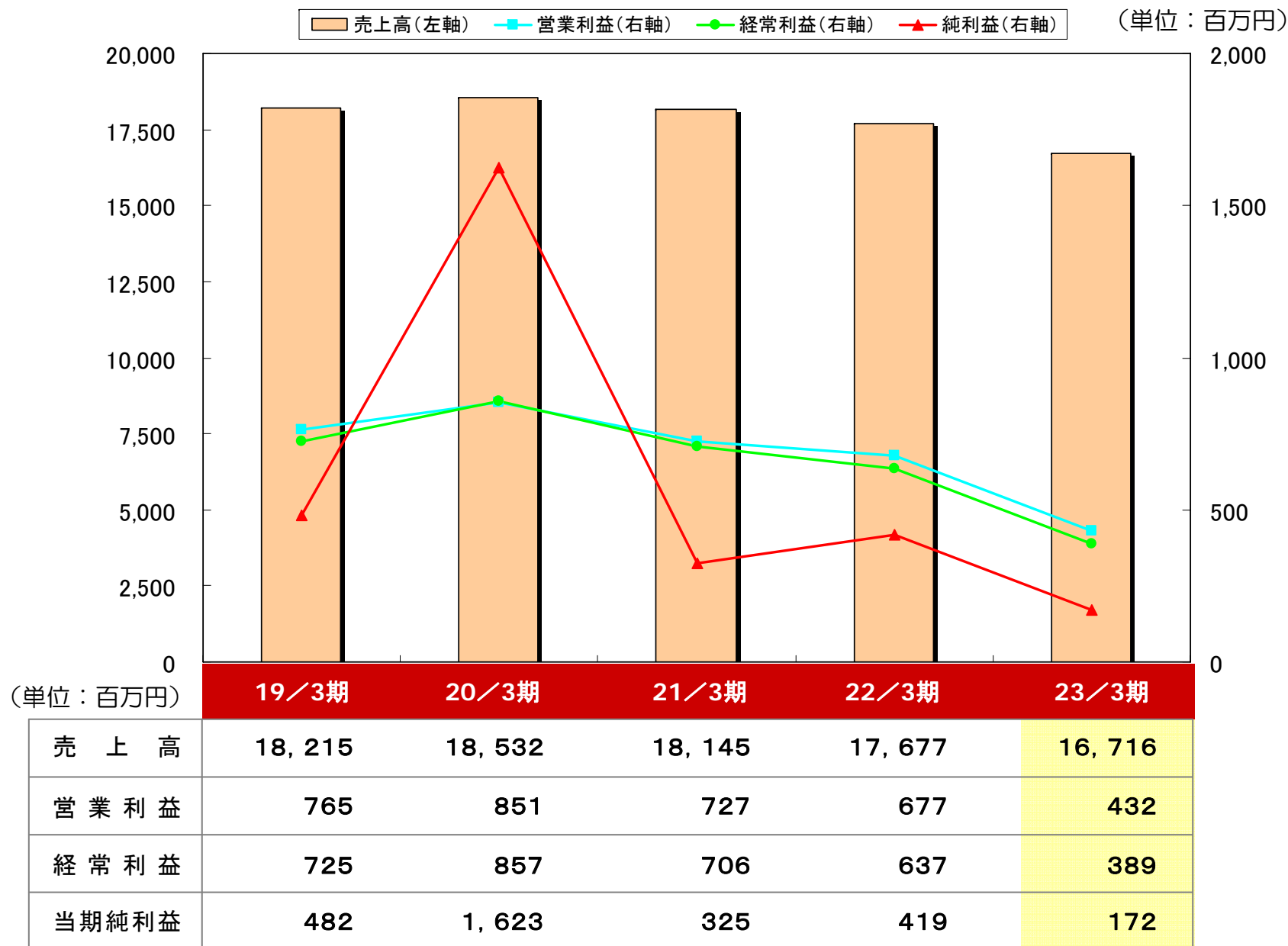


郵便・民間メール便などによる  
年間DM取扱通数



2億9,600万通

# 過去5事業年度の主要連結財務指標の推移



(単位：百万円)

科目名	22/3期	23/3期
売上高	17,677	16,716
売上原価	15,608	14,924
売上総利益	2,068	1,792
販売費及び一般管理費	1,390	1,360
営業利益	677	432
営業外収益	34	20
営業外費用	74	63
経常利益	637	389
特別利益	138	80
特別損失	47	66
税金等調整前当期純利益	728	322
法人税等合計	308	150
当期純利益	419	172

(単位：百万円)

科目名	22/3期	23/3期
売上高	17,650	16,700
DM部門	15,807	15,096
セールスプロモーション部門	1,335	1,095
イベント部門	507	496
賃貸部門	—	13

## ◆ポイント

- ①厳しい経済環境を背景とした顧客企業におけるコスト抑制の動きに加え、震災の影響による販促活動の中止・延期が発生
- ②本社ビルの有効活用を図るため、賃貸事業を開始



(単位：百万円)

科目名	22/3期	23/3期	科目名	22/3期	23/3期
流動資産	5,500	4,403	負債	5,127	6,158
固定資産	5,920	8,047	流動負債	3,109	2,772
有形固定資産	5,059	6,329	固定負債	2,017	3,386
無形固定資産	74	38	純資産	6,304	6,310
投資その他の資産	786	1,679	株主資本	7,090	7,146
繰延資産	10	18	その他の 包括利益累計額	▲785	▲835
資産合計	11,431	12,469	負債・純資産合計	11,431	12,469

## ◆ポイント

本社ビル・ロジスティクスセンターの取得による固定資産の増加  
 固定資産取得を目的とした長期借入れの増加

(単位：百万円)

	23/3期 会計年度	主な増減内容	(参考) 22/3期 会計年度
営業活動 キャッシュ・フロー	1,154	<ul style="list-style-type: none"> <li>●税金等調整前当期純利益の計上：322</li> <li>●減価償却費の計上：510</li> <li>●売上債権の回収：761</li> <li>●仕入債務の支払い：▲311</li> </ul>	927
投資活動 キャッシュ・フロー	▲2,664	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本社ビル・ロジスティクスセンターの取得：▲2,833</li> </ul>	518
財務活動 キャッシュ・フロー	1,278	<ul style="list-style-type: none"> <li>●配当金の支払い：▲115</li> <li>●リース債務の支払い：▲62</li> <li>●長期借入れによる調達：1,123</li> <li>●私募債による調達：317</li> </ul>	▲1,982
現金及び 現金同等物残高	1,080		1,312

◆ポイント

本社ビル・ロジスティクスセンターの取得に伴う設備投資の増加  
固定資産取得を目的とした長期借入れによる調達

2012(平成24年)3月期  
業 績 見 通 し

---

---

震災の影響により景気の先行きは不透明

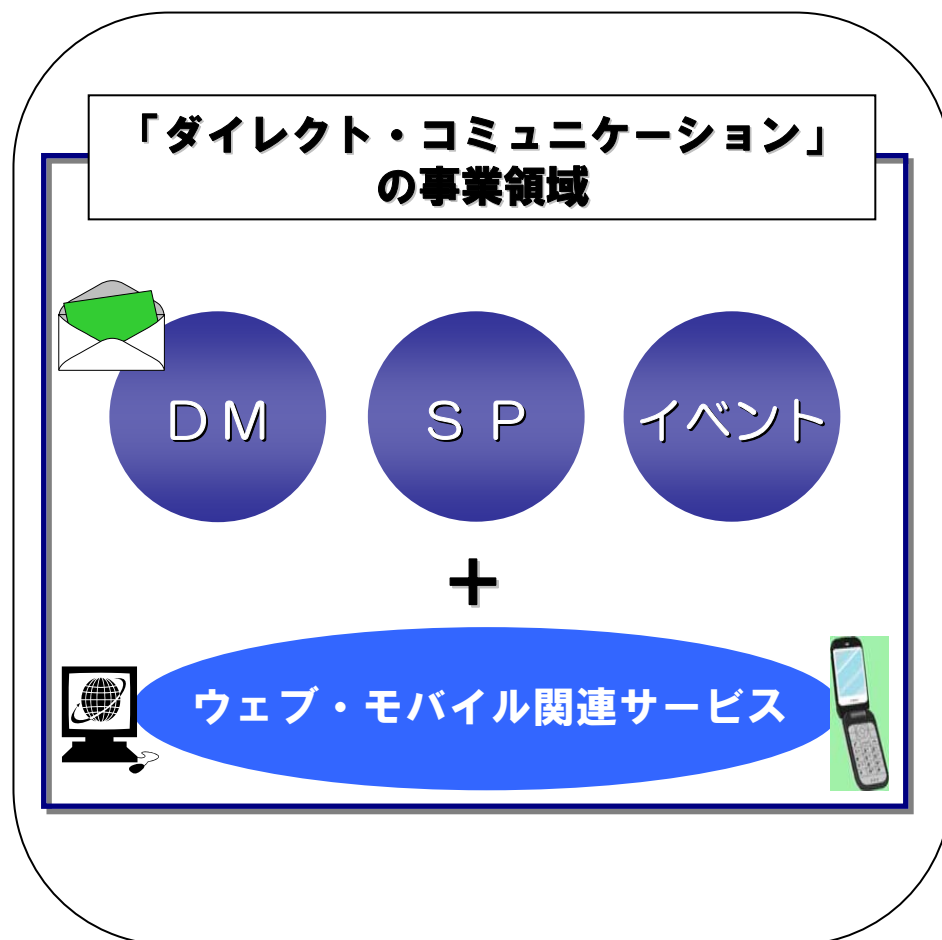
顧客企業における業務委託先の見直し

有効なプロモーション媒体としてのDM需要



引合いはあるものの、厳しい営業環境が続く見通し

# ① 「ダイレクト・コミュニケーション」 事業の領域拡大



当社の事業領域とする「ダイレクト・コミュニケーション」と親和性が高く、当社の顧客基盤を生かした参入が可能であるWeb・モバイル分野においても顧客企業の課題解決に繋がるサービスが提供できるよう、事業開発を進めてまいります。

## Web・モバイル分野における 「ダイレクト・コミュニケーション・ソリューション」

### 1 ECソリューション

ECショップの開設から運営、集客、物流までをトータルサポートいたします！

### 2 モバイルソリューション

モバイルサイト構築、モバイルキャンペーン企画・運営、アプリ開発など、モバイルを使ったECや販促を支援いたします！

### 3 ソーシャルメディアソリューション

フェイスブックやツイッターを始めとした既存のSNSやプライベートコミュニティを活用し、顧客企業のマーケティングや販売促進を支援いたします！

## ②設備投資・営業展開・ 現場の生産性向上



情報処理出力プリンタやメーリング関連機器、昨年10月に竣工したロジスティクスセンターなどのリソースを最大限に活用することで、営業展開の強化と現場の生産性向上を推進してまいります。



### ロジスティクスセンター

メーリング・情報処理拠点である「業務センター」との相乗効果を高め、さらに充実したサービスを提供してまいります。

- 帳票・販促資材発送
- 通信販売フルフィルメント
- 消費者キャンペーン・プレゼント発送



### 情報処理出力プリンタ

多様化するメールプロモーションに対応し、顧客企業における業務効率化とワン・トゥ・ワン顧客対応を実現いたします。

- フルカラーバリアブルプリント
- プリントオンデマンド
- パーソナライズドDM



## ③個人情報保護の継続的な改善

「プライバシーマーク」と「ISMS」のダブル認証。



認証取得部門：管理本部、コミュニケーション部門、  
オペレーション部門

個人情報保護や情報セキュリティに係る取り組みを定期的に見直し、継続的な改善を図っていくことで、社会の要請に応え、顧客の信頼を確保してまいります。

◆平成24年3月期 連結通期業績予想

(単位:百万円)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	予想数値	前期比 (%)	予想数値	前期比 (%)	予想数値	前期比 (%)	予想数値	前期比 (%)
連結	17,500	4.7	475	9.9	410	5.3	205	18.8

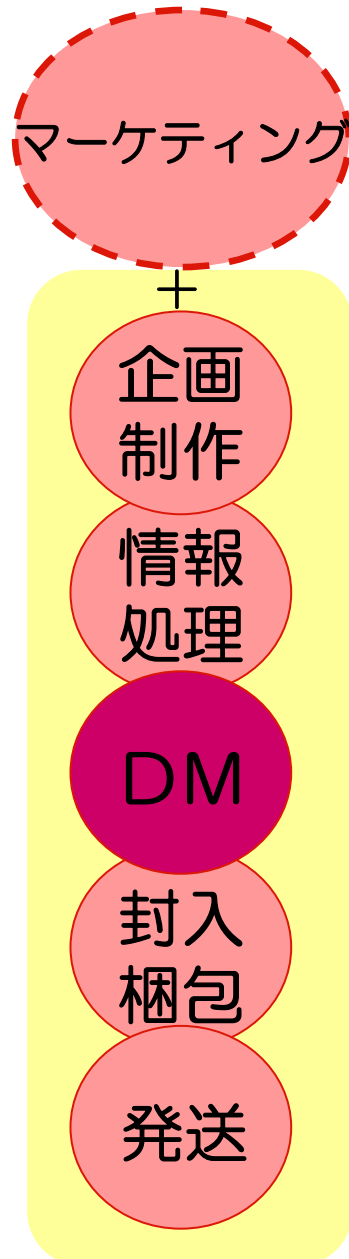
◆平成24年3月期 配当予想

1株当たり年間配当金(予想) 15円00銭

# 今 後 の 展 望

---

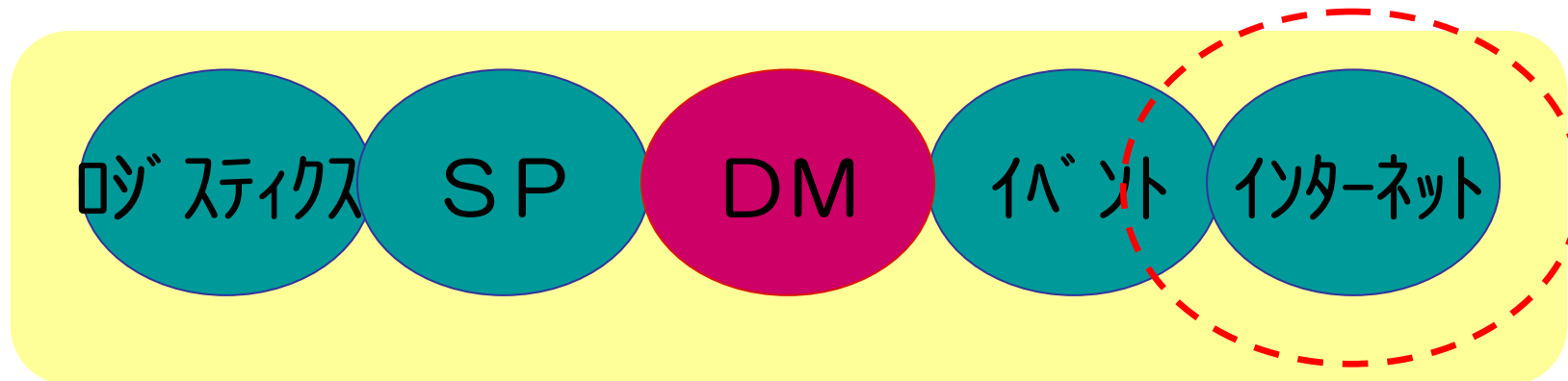
---



## マーケティング・コンサルティング機能を強化



“売れる仕組みづくり”を提案することで  
品質・スピード・価格以外の付加価値を  
併せて提供

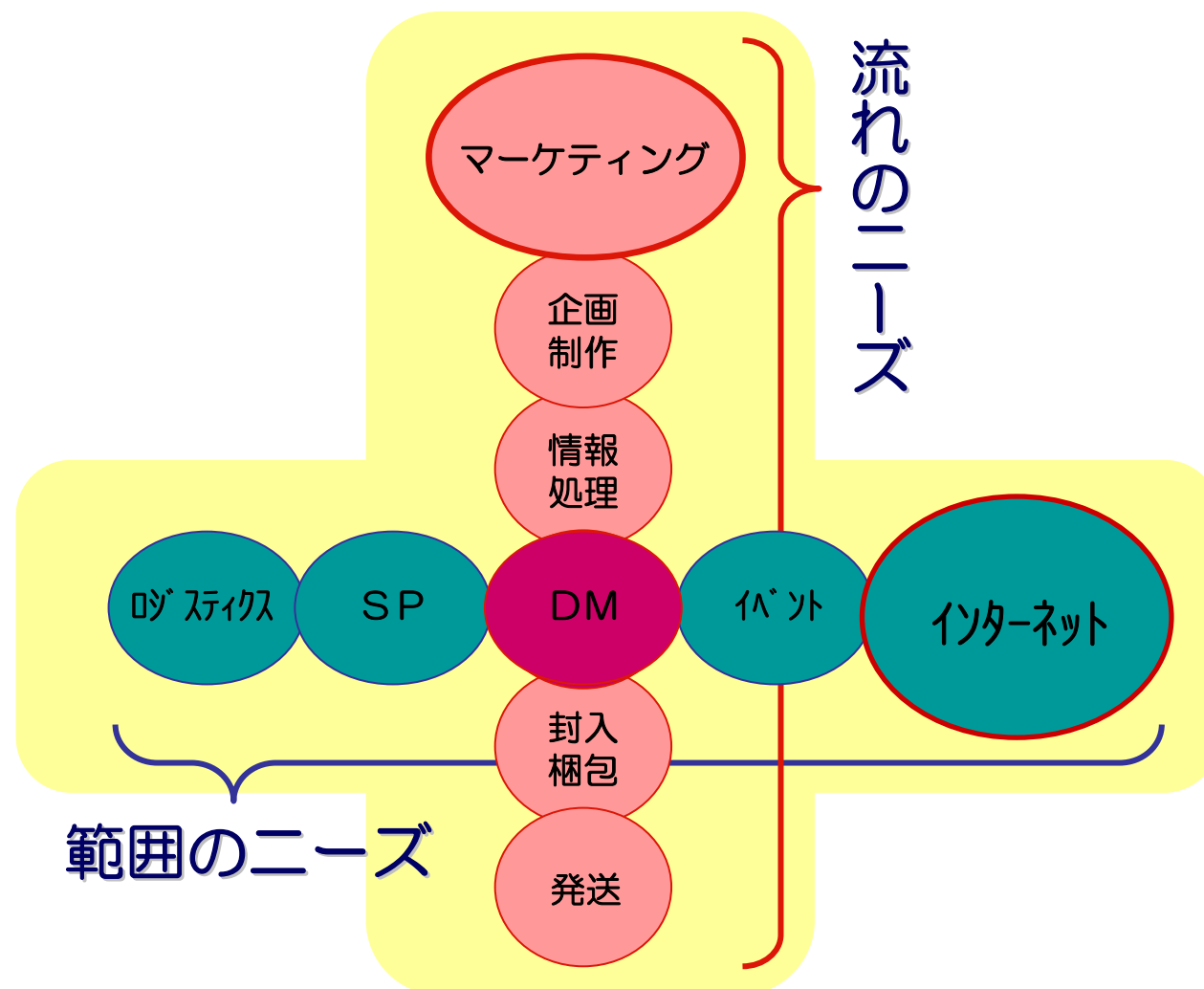


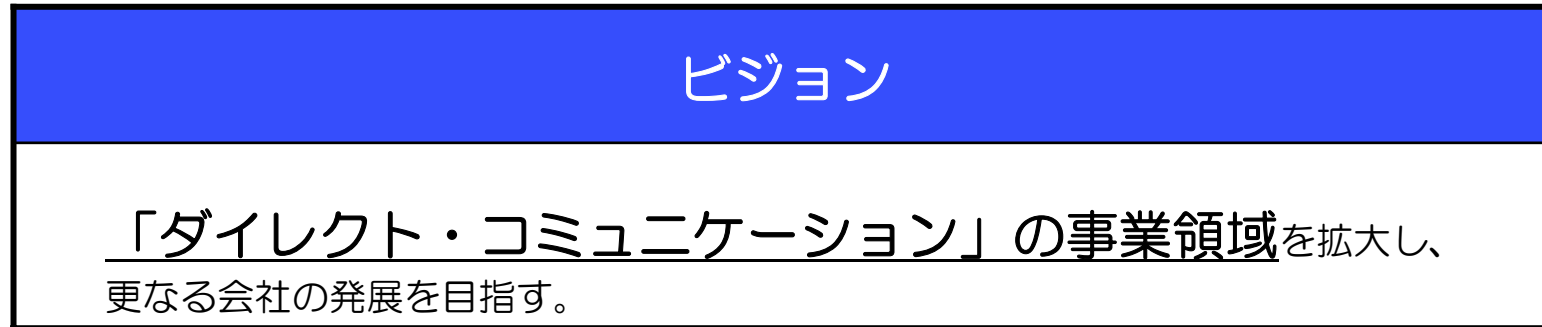
**コミュニケーション手段として存在感を高め、活況を呈している  
Web／モバイル分野における新たなサービスの開発**



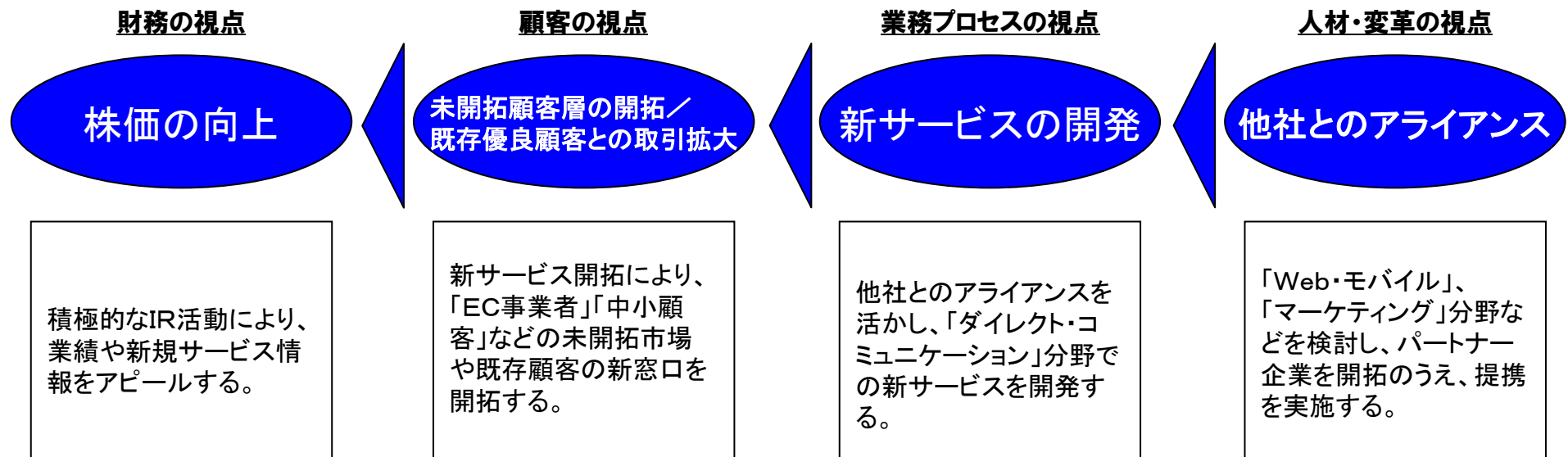
「ダイレクト・コミュニケーション」の事業領域拡大  
により、顧客企業のクロスメディア戦略に対応

「ダイレクト・コミュニケーション」事業の領域を拡大し、  
 “流れのニーズ”と“範囲のニーズ”への対応力を充実させ、  
 総合的支援のできるコミュニケーション企業を目指します。





**実現の方向性**



業績見通しにつきましては、その目標達成に向けて事業を展開してまいりますが、経済状況や市場動向の変化など様々な要因により変動する可能性があります。

【本件資料に関するお問い合わせ】

株式会社ディーエムエス  
(経営企画室)  
TEL:03-3293-2961(代)